

福山市議会は22日、一般質問を終えた。市民連合と無所属の計5人が市の施策をたじた。主なポイントは次の通り。

国民健康保険

【西本章氏（市民連合）】 運営を真に移管後の激変緩和措置が終わる2024年度以降は被保険者の負担が増す。物価高の現状を踏まえ、再検討が必要では。 岡田昌弘市民部長 この6年間は、各市町が財政調整基金を激変緩和の財源として活用できたが、現在の運営方針では、(24年度以降は)単独での活用はできない。だが社会情勢は変わっており、(活用)検討が必要ではないかと提案している。医療費も増加が避けられない。県内市町でつくる連携会議で議論している。

市立校に図書館運営委

福山市教委 来年度から設置

福山市教委は22日、来年度から全ての市立小中・義務教育学校に「学校図書館運営委員会」を設置すると明らかにした。校長や司書教諭らで構成し、図書選定など運営全般を主体的に行う。

市議会一般質問で西本章氏が尋ね、三好雅章教育長が「自校の課題を踏まえた図書選定や廃棄、授業での活用を実施、快適に利用できる環境づくりを進めている。」 本会議では、LPGが燃料高騰を受けた中、小企業向け支援事業に1億9200万円を計上した23年度一般会計補正予算案を追加上程した。(赤沢昌典)

運営支える人 充実を

福山市教委が進める小中学校図書館のリニューアル事業で、市教委は監修者の児童文学評論家と進めてきた購入図書選定や廃棄などを学校現場が主体的に担えるよう見直す。司書教諭などとして長年、図書館運営に携わり、現在は公益社団法人全国学校図書館協議会(東京)スパーバイザーとして講演などを続ける高見京子氏(70)＝岡山市北区Ⅱに見解を聞いた。



高見京子氏

「図書の大量廃棄のほかに、監修者の著書を含む図書リストを市教委が作り、学校に「必備」として購入を求めていることに疑問の声も上がりました。市教委は表現を「必備」から「推薦」に見直します。 更新して今使える本を選ぶことは重要な。毎年、同じような本を機械的に買っていたことも廃棄が増えた要因と聞く。ただ、公教育の場で特定の著者の本を買いたいと求めているとすればおかしい。 参考程度で示すなら良いが、学校や児童生徒に個性があるように選書も画一的ではない。リストに頼らず、各校が主体的に選ぶべきだ。 市教委は2020年度から全市立小中学校と義務教育学校の図書館リニューアル事業の監修を児童文学評論家に年約500万円を委託しています。 全校の監修を任せず、研修にとめて残った予算を補助員たちの確保に充てることもできたのでは。岡山市内の小中学校には司書資格を持つ学校司書が1校に1人いる。回り道かもしれないが、図書館運営を支える人の充実にもっと力を入れてほしい。

最近の新聞記事より

福山の小中学校図書館リニューアル 「図書充実に取り組み」 教育長、充足率減受け方針

福山市教委が進める小中学校図書館のリニューアル事業で、監修者の児童文学評論家と進めてきた購入図書の選定や廃止を見直す市教委の対応について、22日の市議会本会議の一般質問で論戦が交わされた。三好雅章教育長は図書の充足率が減っていると図書の充実に取り組みとした。

と説明。市議の一人からは同事業が最終年を迎えた段階で設置を決めたことを疑問視する声が出た。 市教委は2022年度までに80校で改装を終えている。三好教育長は図書館の利用者が小学校は2.1倍、中学校・義務教育学校は2.7倍に増えたなどとする一方、図書の廃棄や更新を進める過程で図書の充足率が71.3%(19年度110.4%)に減ったと説明。教職員から「図書館を利用した授業が十分にできていない」といった声があるとした上で図書の充実などに取り組む考えを示した。(門戸隆彦)

沖繩全戦没者追悼式 「平和の詩」朗読

沖繩全戦没者追悼式で朗読された「平和の詩」の全文は次の通りです。

今、平和は 問いかける

沖繩全戦没者追悼式で朗読された「平和の詩」の全文は次の通りです。

平安名 秋さん



「平和の詩」を朗読する平安名 秋さん(23日、沖繩県糸満市)

夏六月 浴げかけたアイスを手を走り出す 緑明ゆるこの島の屋下がり 礎に刻まれた「死」に まるであの日のように そっと触れるおぼろの涙は 陽炎が登る摩文仁の丘に ただ果てしなく広がってゆく

あの日 あの時 かげがえのない たったひとつの命が 憎しみと悲しみの中で 散っていった 名も無き赤子の 微かな 微かな泣き声は 震える母の手によって 冷たく光の無いガマの中で 儚く消えていった

幾多もの砲弾が 紺碧の海を黒く染める鉄の嵐と なって この島に降り注いだ 戦争が起きる前 そこには日常があった 私達と同じように

原っぱを駆け回り 友達とおしゃべりする みんなで暖かいご飯を食べ 時には泣き 時には笑い 時には「ありがとう」を伝える そんな今と変わらない日常が 平和が そこにはあった

平和は不確かで 脆く崩れやすさ いらすべしそはにあるのに いっつのまに消えていって 今、私達に問いかける 平和とは何かを

